

平成 28 年度地域情報化月間講演会開催

協会主催平成28年度地域情報化月間講演会を、61名の参加のもと、10月26日松江エクセルホテル東急で開催しました。



井上 代表理事副会長

井上浩情産協代表理事副会長の挨拶後、講演会を開催しました。今回は、「サイバーセキュリティの脅威と対策」と題し、島根県警察本部生活安全部生活環境課サイバー対策室情報技術管理官達家卓也氏に講演をして頂きました。



講演の様子

サイバー犯罪の現状について、2010年ごろをターニングポイントとして、ネットサービスが向上し、ネットの世界に金・情報が載るようになり、これを狙ったサイバー犯罪が右肩上がり増加していること、最近では、対策が弱い地方の中小金融機関が狙われている現状の説明がありました。

対策と犯罪はたちごっこの状況であり、2016年からはランサムウェアという身代金要求型のサイバー犯罪も出始めたとのこと。また、犯罪インフラとして、メールやファイルを偽装する闇サイトがあり、捜査を極めて困難にしている状況があるとの指摘がありました。



島根県警 達家氏

この対策として、被害を受けたとしてもその被害を最小化する対策をとることを強調されました。情報の棚卸を行い、厳重に守るべき情報とそうでないものをまず整理すること。そのうえで、セキュリティソフトの導入等犯罪者の犯罪コストが高くなる対策をとる、OS、ソフト等を最新のものとして弱い性を最小化する、心のスキをつくらないこと、バックアップをとることを指摘され、特に経営層のサイバーセキュリティの重要性認識を訴えられました。

県の中小企業対策としては、8月1日商工3団体・県・県警等で協定を締結、ネットワークを作り情報の共有、24時間対応の相談窓口の開設が報告されました。なお、民間サイドで対応すべき事柄については協会も協力することにしています。

講演終了後、33名が参加し、島根県商工労働部産業振興課長馬庭正人氏のご発声により交流会を開催しました。席上、今回新たに代表に就任された(株)シーエスエー代表取締役社長和田正志氏、同じく代表に就任されたソフト産業ビジネス研究会会員であるいずもトータルネット(株)若槻等氏にご挨拶を受け、出席者の交流を深めました。交流会は、情産協理事福光靖地域情報化委員長の中締め挨拶で散会しました。



島根県産業振興課
馬庭課長



シーエスエー 和田社長



いずもトータルネット
若槻社長



福光 地域情報化委員長